

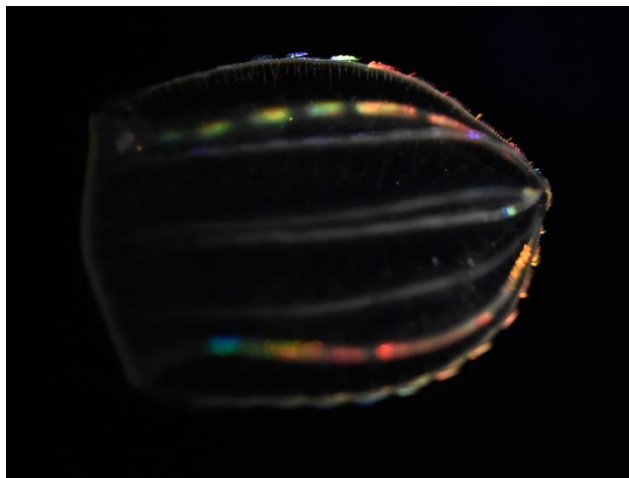
虹色に輝く美しいクラゲ

「チョウクラゲ」と「ウリクラゲの仲間」を展示しました

大阪市港区の海遊館では、現在、クラゲ専門の展示コーナー「ふあふあクラゲ館」にて、虹色に輝く美しいクラゲ「チョウクラゲ」（約 200 匹）と「ウリクラゲの仲間」（2 または 3 種、計 20 匹）を展示しています。本種は、小さな繊毛を動かして海中を移動するクシクラゲの仲間（有櫛動物）で、繊毛の動きに反射した光が虹色に輝く非常に美しいクラゲの仲間です。長期飼育が難しいため展示は期間限定となります。



チョウクラゲ（透明な体と虹色に輝く光が美しい）



ウリクラゲの仲間（繊毛の動きに合わせて色が変わる）

今回展示している「チョウクラゲ」と「ウリクラゲの仲間」は、大阪湾（淡路島の漁港）にて海遊館の飼育係員が採集しました。海遊館では展示するクラゲのほとんどをバックヤードで繁殖させて、赤ちゃんから育てていますが、定期的にクラゲの野外採集も行い、珍しいクラゲの展示を試みています。「チョウクラゲ」と「ウリクラゲの仲間」は、採集できる時期と地域が限定的で発見の機会が少なく、珍しいクラゲの仲間です。また「チョウクラゲ」は、この種の仲間では珍しく、チョウの羽のような突起を開閉させて、水中をすばやく移動することが特徴です。

海遊館では、これからも海の神秘的な生き物を紹介し、自然環境と生命についてお伝えしてまいります。

1. 【「チョウクラゲ」と「ウリクラゲの仲間」の展示について】

展示期間：現在展示中～終了時期は未定 ※生物の状況により、展示を終了いたします

場 所：海遊館3階「ふあふあクラゲ館」

展 示 数：チョウクラゲ 200 匹（大きさ約 3～5cm）

ウリクラゲの仲間（2～3 種を一緒に展示） 20 匹（大きさ約 5cm）

2. 【チョウクラゲ】 学名 *Ocyropsis fusca*

体の表面に 8 列の櫛板を持つクシクラゲの仲間（有櫛動物）です。この仲間は刺胞を持たないため、触れても刺されることはありません。チョウクラゲが持つ一対の突起（袖状突起）は、開閉させて遊泳する役割の他、浮力を確保するのにも役立っています。

【ウリクラゲの仲間】 学名 *Beroe* spp.

体は扁平で、櫛板の列がよく目立つクシクラゲの仲間（有櫛動物）です。広げると大きな口を持ち、他種のクシクラゲ類を食べることが知られています。クシクラゲの仲間は、刺胞を持たないため、触れても刺されることはありません。

3. 【ふあふあクラゲ館】

クラゲの展示コーナーで、常時 12 種約 300 匹のクラゲを展示しています。水流、照明、音響を工夫した大小 12 基のクラゲ専用水槽（総水量約 11t）を設置し、特に、水槽の照明を工夫することにより、クラゲをより美しく、幻想的に観察することができます。年間を通してクラゲをご覧いただけるよう、館内のバックヤードには、クラゲを繁殖させるための特別な施設があり、常時クラゲの赤ちゃんを育てています。

4. 【今までに「ふあふあクラゲ館」で展示したクラゲ 計 51 種類】

アカクラゲ、ミズクラゲ、ギヤマンクラゲ、ブルージェリーフィッシュ、アマクサクラゲ、サカサクラゲ属の仲間、カブトクラゲ、アトランティックシーネットル、チョウクラゲ、カミクラゲ、キタユウレイクラゲ、タコクラゲ、オワンクラゲ、ドフラインクラゲ、カギノテクラゲ属の仲間、フサウミコップ、パープルストライプトジェリー、サルシアクラゲ、ウリクラゲ、ハナガサクラゲ、ビゼンクラゲ、オキクラゲ、カギノテクラゲ、キタミズクラゲ、パシフィックシーネットル、ブラックシーネットル、スナイロクラゲ、ヤナギクラゲ、バブラージェリー、シロクラゲ、ユウレイクラゲ、エチゼンクラゲ、エダアシクラゲ、オーレリア・ラビアータ、ヒトダマクラゲ、ベニクラゲ、サムクラゲ、スポテッドジェリー、コティロリーザ・ツベルクラータ、マミズクラゲ、ムラサキクラゲ、コモチカギノテクラゲ、アンドンクラゲ、エボシクラゲ、ニホンベニクラゲ、ヒトツクラゲ、ツノクラゲ、キタカブトクラゲ、ヒゼンクラゲ、ヒトモシクラゲ、キタヒラクラゲ